

「こんな時どうする？」の こども心理学

＜セッションI：基礎編＞

河瀬さやか

(株) Piece to Peace Project代表
米国CA州認定心理カウンセラー

このセッションで学ぶこと

こどもを理解する

こどもの**発達段階**（出来ること&出来ないこと）
こどもの**問題行動**（泣き、人見知り、かんしゃく）



適切な対応を知る

発達段階を理解する

こどもが出来ること vs 出来ないことを理解する

大人の視点

大人の予測・期待

適切な対応

発達段階グループ

0～1才 <乳児>

1～3才 <幼児>

3～6才 <幼児>

6才+ <児童>

乳児（0～1歳）の発達

<3ヶ月>

驚き、苦痛、リラックス、興奮（怒り、悲しみ、恐怖）

<4ヶ月>

一番近くにいる人を認識できる

相手の声のトーンや表情で感じていることを察知し、反応する

<6ヶ月>

「オブジェクト・パーマネンス」

名前があること（自分も含め）を理解する

泣くこと以外のコミュニケーションがあることを知り始める

<7ヶ月>

簡単な物事の流れ（例：びっくり箱）を理解する

<7～8ヶ月>

パパやママは自分と違う存在だと気づく

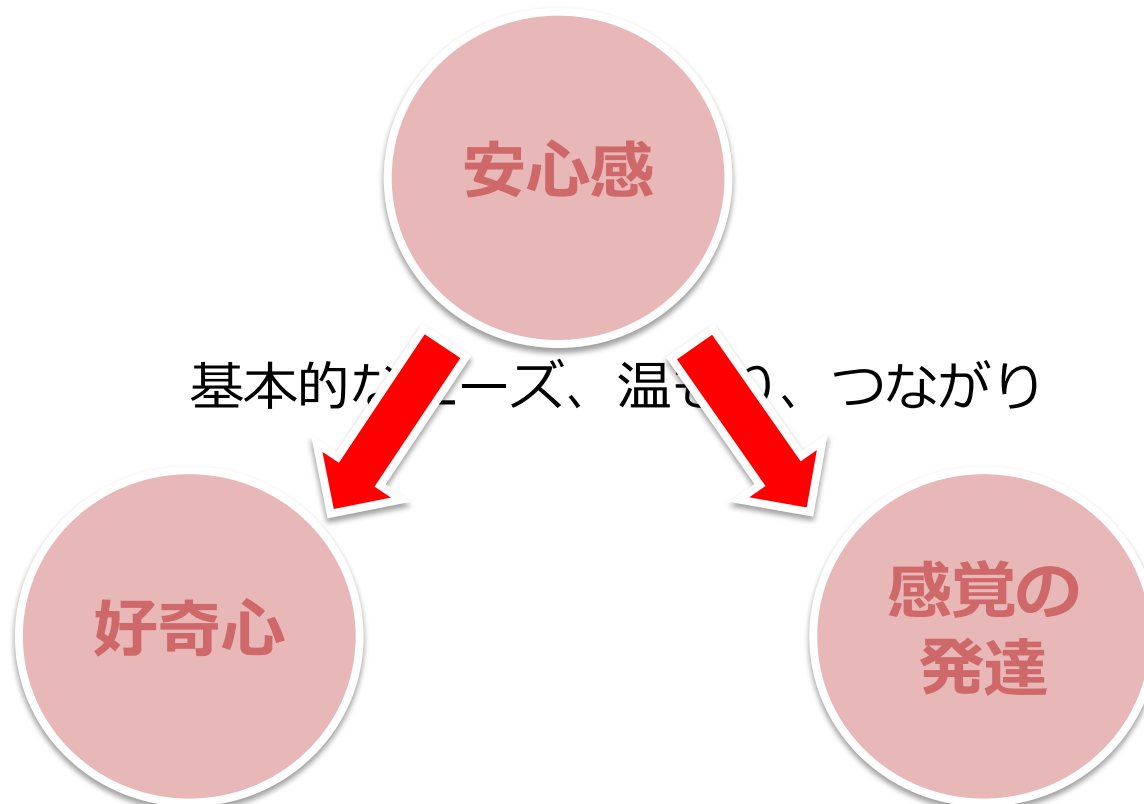
<8～12ヶ月>

簡単なお願いや質問を理解する

<12ヶ月>

分離不安

乳児（0～1歳）の行動ベース



自分の行動に相手はどう反応するか？
同じことをすると同じ結果になるか？

これを触るとどんな感じ？
口にいとるとどうだろう？

乳児（0～1歳）の問題行動

- 泣き&ぐずり
- 抱っこぐせ
- 人見知り
- 危険な遊び
(触る、口に入れる、落ちる、やけど)

乳児（0～1歳）ケアのまとめ

- 1) フィジカルタッチ（ぬくもり）
- 2) 「甘やかしすぎ」はありません
- 3) 予測&準備&予防

幼児（1～3才）の発達

<12～15ヶ月>

「おもちゃを持ってきて」というシンプルな指示がわかる

<18ヶ月まで>

「そのぬいぐるみを拾って、かごに入れなさい」といった二つの指示が理解できる

<2才>

一緒に遊べる

（それまではパラレルプレイ（平行的な遊び））

<2～3才>

おもちゃの共有が出来る

<3才>

質問をし続ける

幼児（1～3才）の行動ベース



安心感

基本的なニーズ、温もり、つながり

アテン
ション

見てもらおう、注目してもらおう

独立心

自分でやりたがる

幼児（1～3才）の問題行動

- かんしゃく（2～3才）
- いやいや期（2～3才）
- 怒り＋乱暴
- 我慢ができない
- 繰り返し

幼児（1～3歳）ケアのまとめ

- 1) 内面的葛藤（安心感、独立心、不可能なこと&可能なこと、感情のコントロール）を受け入れる
- 2) リミット設定（=だめなことはだめと伝える）&アテンションを与えない
- 3) 気分をシフトする手助け（場所を変える、タイムアウトの実施）

乳児&幼児（0～3才）の遊び



走る、飛ぶ、登る、乗る：またがるおもちゃ、ボール等
空間の理解や原因と結果のあるおもちゃ：ブロック、パズル、組み立てるまたは飛び出すおもちゃ等
創作性のあるおもちゃ：粘土、楽器

幼児（4～6才）の発達

<4才>

通常、親しみやすく社交的、**共感できる**

友達と協力できる、団体行動ができる、親友ができる

役を演じたり「ごっこ」に熱中する、想像上のお友達や物語作り

大人から頻繁に褒められたい

暴力よりも**言葉で怒りを表すことが増える**

<5才>

より親しい友達のグループができる、親切に協力して遊べる

グループで想像上の遊びができる

感情のコントロールができるようになる

人を喜ばせたり、笑わせるのを楽しむ、親の手助けをしたがる

自分より年下、弱い者に対する思いやりの表現

<6才>

うれしくないことを言葉で説明できる

簡単な**問題解決のためのステップ**を踏むことができる

より褒められたい（大人からの確認や賞賛）

相手の視点で物事を見ることはできない

倫理や道徳観が理解できない（特に決まりがない状況では）

自分以外の人を設定したルールに沿って、自分が「悪い」ことが理解できる

幼児（4～6才）の行動ベース



友達

共感、協力、親友、団体での遊び

想像力

想像上の遊び、仮説、問題解決

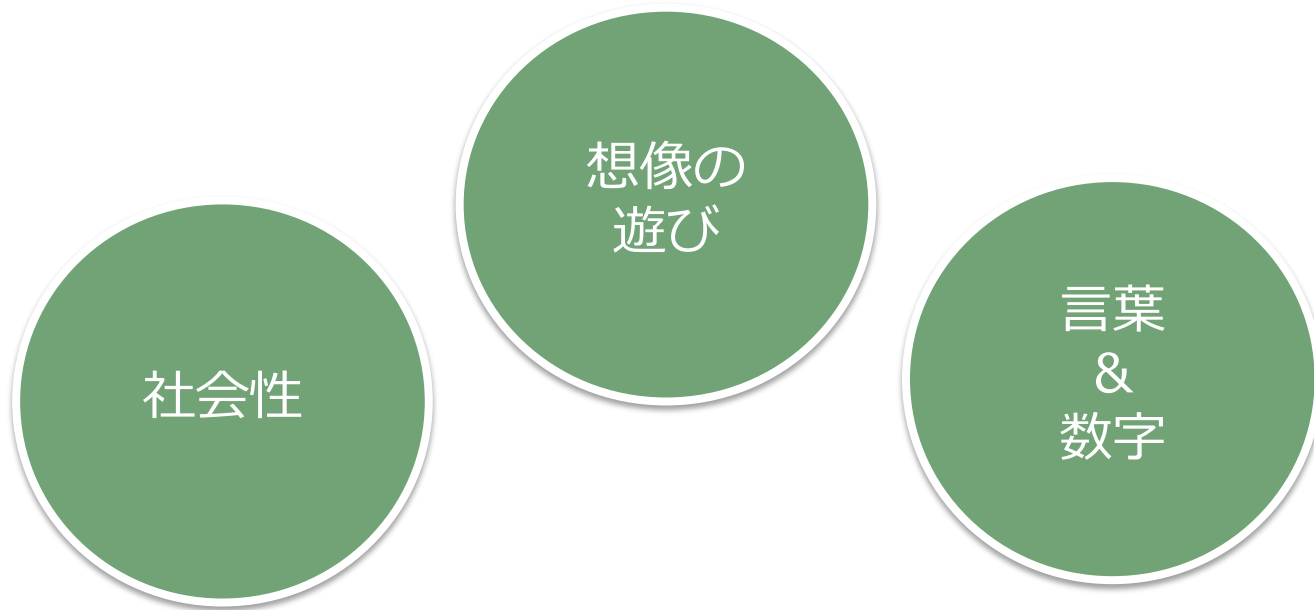
会話

言葉での説明、ルール

幼児（4～6才）の問題行動

- テンションが高い
- 気分の移り変わりが（4～5才）
- 大げさ、作り話（4才）
- 話し過ぎる、ふざけ過ぎる

乳児&幼児（3～6才）の遊び



「ごっこ」遊び：おもちゃの電話、キッチン用品、道具セット、お医者さんセット、コスチューム、赤ちゃんの人形、人間や動物のフィギア、指人形

知的&交流のある遊び：ボードゲーム、おままごと、本

創作性のあるおもちゃ：お絵描き

幼児（4～6歳）ケアのまとめ

- 1) グループ設定を効果的に活用する（子供同士の遊び、役割分担等）
- 2) 時間割&切り替え（活動&気分）
- 3) お手伝いを取り入れる
- 4) 「静かにする場所」を設ける

「理解する」 3つのポイント

1. 適応するのは100%大人の仕事です。

— こどもの力ではまだ無理です

2. “大人の視点”で見ない。

— こどもは今できることを一生懸命やっています

3. 無理なことはやらせない。

— できないことをやらせると、お互いにストレスです

— 見極めるのはいつも大人の役目です